

令和 2 年 5 月 18 日
青森県原子力センター
日本原燃株式会社

原子燃料サイクル施設に係る環境試料の測定計画の継続について

— 牛乳(二又):青森県及び日本原燃株式会社実施分 —

— 牧草(二又):日本原燃株式会社実施分 —

「原子燃料サイクル施設に係る環境放射線等モニタリング基本計画」における環境試料の調査のうち、六ヶ所村の牛乳(二又)及び牧草(二又)について、試料提供者の生産状況に変化があったので報告する。

1. 状況概要

- (1) 令和 2 年 1 月、牛乳及び牧草試料提供者であった二又の酪農家 A が村外に移転した。
- (2) 酪農家 A が使用していた牛舎等の施設を、酪農家 B が借り受けて牛乳を生産している。
- (3) 酪農家 B は当面酪農家 A が残した牧草(二又)を給餌しているが、牧草を自家生産せず、飼料は購入したものを使用する予定。
- (4) 酪農家 A が使用していた牧草地を、酪農家 C が借り受けて牧草を生産・使用する予定。

2. 令和 2 年度第 1 四半期以降の試料採取の方針

これまで牛乳をモニタリング対象として選定するに当たり、同一地点で生産され、乳牛に飼料として与えられる牧草についてもモニタリング対象としてきた。二又の乳牛については、同地点以外で生産された飼料が与えられることとなったが、施設に最も近い重要な地域であることから、引き続きモニタリング対象とする。二又で生産される牧草については、施設影響を把握する上で重要な試料であることから、引き続きモニタリング対象とする。

以上の経緯・考え方を踏まえ、次の方針で継続する。

- ・ 1. (2)の酪農家Bが二又において生産する牛乳を、牛乳(二又)として調査を継続する。
- ・ 1. (4)の酪農家Cが二又において生産する牧草を、牧草(二又)として調査を継続する。

表 原子燃料サイクル施設に係る環境試料(牛乳及び牧草)の測定計画

実施 機関	測定 対象	採取 地点名	採取頻度 (回/年)	採取時期	γ 核 種	^{14}C	^{90}Sr	Pu	U	^{131}I	F	
県	牛乳	二又	2	4,10月	○	○	○		○	△	○	
		庄内	4	4,7,10,1月	○		○		○	△	○	
		横浜町	4	4,7,10,1月	○	○	○			△		
		東北町	4	4,7,10,1月	○		○			△		
	牧草	第3団地	2	収穫期	○		○	○	○			○
		横浜町	2	収穫期	○		○	○	○			
事業者	牛乳	二又	2	7,1月	○	○	○		○	△	○	
		豊原	4	4,7,10,1月	○	○	○			△		
		六原	4	4,7,10,1月	○	○	○			△		
	牧草	富ノ沢	2	収穫期	○		○		○			○
		二又	2	収穫期	○		○		○			○
		豊原	2	収穫期	○		○					
		六原	2	収穫期	○		○					

△:必要に応じて実施

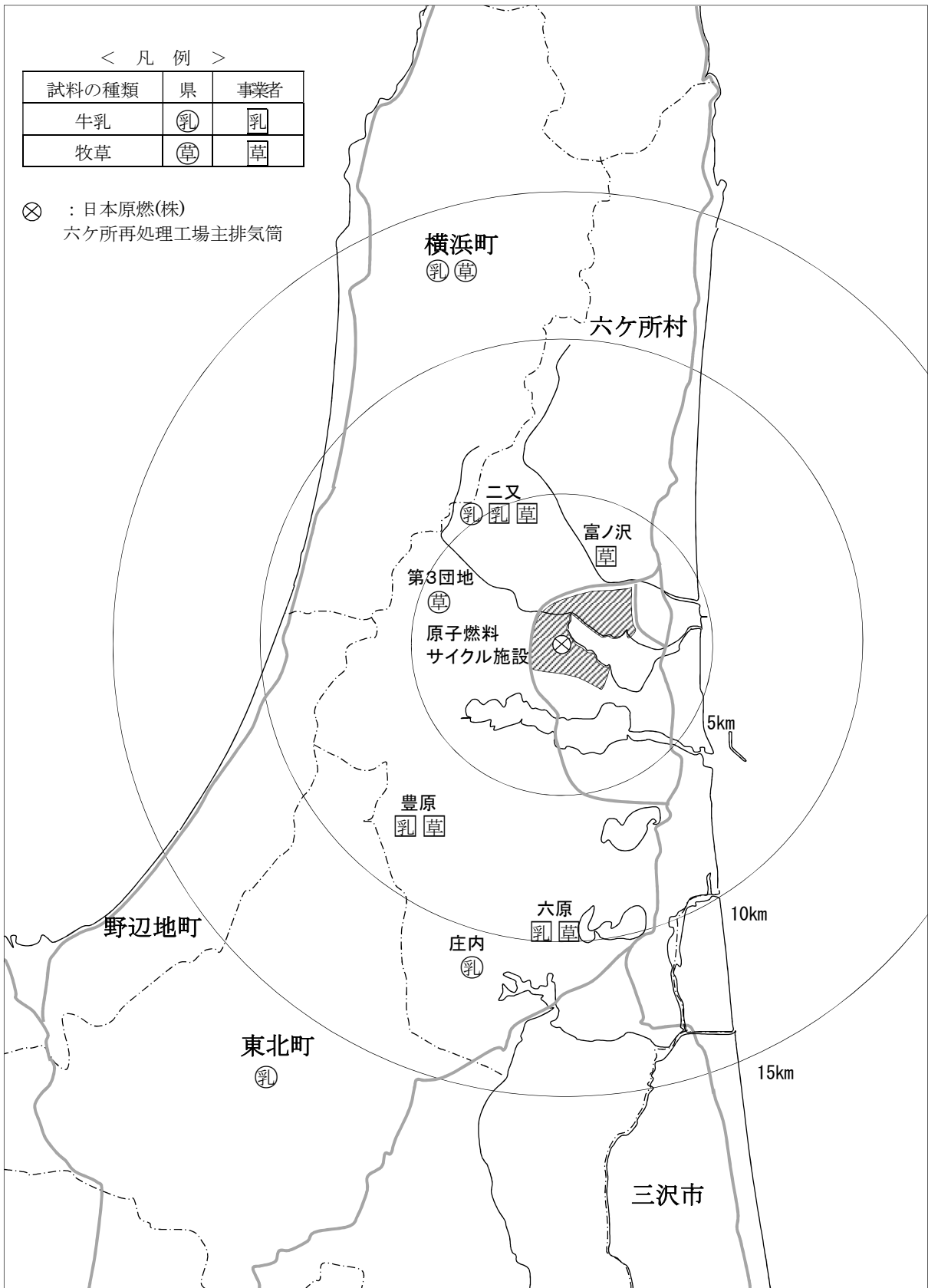


図1 原子燃料サイクル施設に係る環境試料(牛乳及び牧草)採取地点